2019年度

【2018年９月～2019年８月】

環境活動レポート

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号 0004778

株式会社リペア

作成日　2019年　11月　26日

目次

1	事業概要		
	【1】	事業者名及び代表者名	P1
	【2】	所在地	P1
	【3】	環境保全関係の責任者及び担当者連絡先	P1
	【4】	事業内容	P1
	【5】	事業規模	P1
	【6】	認証・登録事業範囲	P2
	【7】	許可の概要	P2
	【8】	所有車両	P2
	【9】	機器・設備	P3
	【10】	受託した産業廃棄物量の今年度までの現状	P3
		①2018.9～2019.8　受託した廃棄物収集運搬量	P3
		②受託した産業廃棄物の収集運搬量の実績	P3
	【11】	EA推進体制図	P4
2	環境方針		P5
3	環境負荷の現状		P6
4	５ケ年環境目標（2018.9～2023.8）		P7
5	環境活動計画（2018.9～2019.8）		P8
6	今年度の環境目標の実績及び評価（2018.9～2019.8）		P9～P10
7	今年度の環境活動計画の取組と評価と次年度の取組		P11
8	環境関連法規制の遵守		P12
9	代表者のよる全体の評価と見直し		P13

1. 事業概要

【1】◆事業者名及び代表者名◆

株式会社リペア

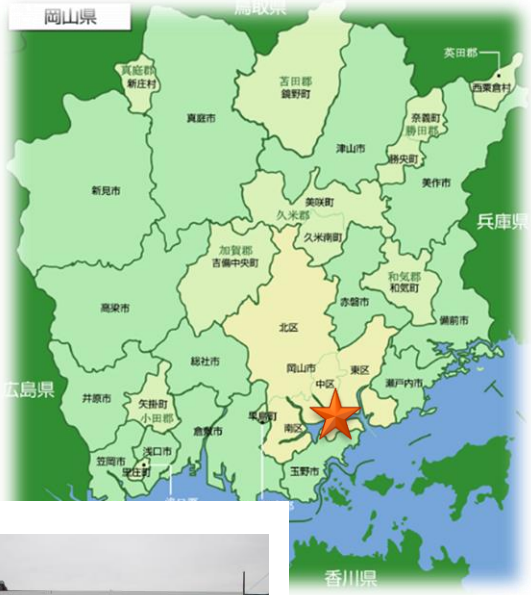
昭和 56 年 9 月 10 日設立

代表取締役　植田慎一郎

【2】◆所在地◆

本社　〒702-8002

岡山県岡山市中区桑野 480-10



【3】◆環境保全関係の責任者及び担当者連絡先◆

責任者　　環境管理責任者　（植田　慎一郎）

担当者　　環境管理事務局　（植田　由美）

連絡先　　TEL　086-274-1488

E-mail　repair.s-u@ce.wakwak.com

【4】◆事業内容◆

再生資源物及び廃棄物の収集運搬業

（積替え保管あり）

積替保管施設　面積 72.6 ㎡　保管上限 97 ㎥

【5】◆事業の規模◆

資本金	1,000 万円
事業年度	9 月 1 日～8 月末日
売上高	売上高区分A，5 億円未満(第 38 期　2018.9.1～2019.8.31 実績)
従業員数	5 名（うち 1 名は他社出向の為、EA21 対象人は 4 名）
事業所延床面積	1,421.18 ㎡

【6】◆認証・登録事業範囲◆

1.事業所　　株式会社リペア

対象事業者所在地　〒702-8002　岡山県岡山市中区桑野 480-10

対象事業所　　本社

2.事業活動　　一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、金属屑商

【7】◆許可の概要◆

■産業廃棄物収集運搬業許可■

	許可番号	許可年月日 有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	産業廃棄物処理物
岡山市 積替保管有	8310012452	H31.1.31 H36.1.30	●	●	●		●		●				●	●	●		●				
岡山県	3301012452	H31.2.7 H36.1.30	●	●	●		●		●				●	●	●		●				
兵庫県	2804012452	H28.1.22 H33.1.21					●	●	●					●	●		●				

■一般廃棄物収集運搬業許可■

・**岡山市　第 4003 号**　　許可年月日　平成 30 年 4 月 1 日

有効期限　　平成 32 年 3 月 31 日

■金属屑取扱業許可■

・**岡山県　185**　　許可年月日　昭和 57 年 3 月 30 日

■古物商許可■

・**岡山県　7211300008904**　　許可年月日　昭和 57 年 3 月 30 日

■計量証明事業登録■

・**岡山県　第 2-0154 号**　　登録年月日　平成 20 年 3 月 6 日

【8】◆所有車両

収集運搬車両　　脱着装置付コンテナ専用車　…3 台

塵介車　…1 台

1.5t フォークリフト　…1 台

営業車　…3 台

【9】◆機器・設備◆

- エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置　EDX-900HS　･･･１台
- 携帯型金属成分分析計　XLt-898SW　･･･１台
- 貴金属テスター　GK-2000　･･･１台
- 40ｔトラックスケール　･･･１基

【10】受託した廃棄物の処理量の今年度までの現状

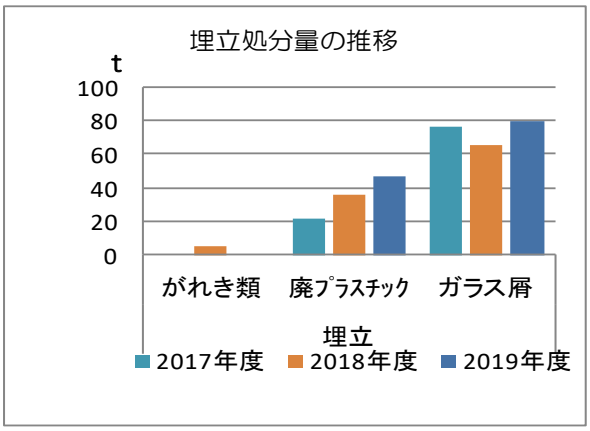
① 2019年度（2018.9～2019.8）　受託した廃棄物収集運搬量

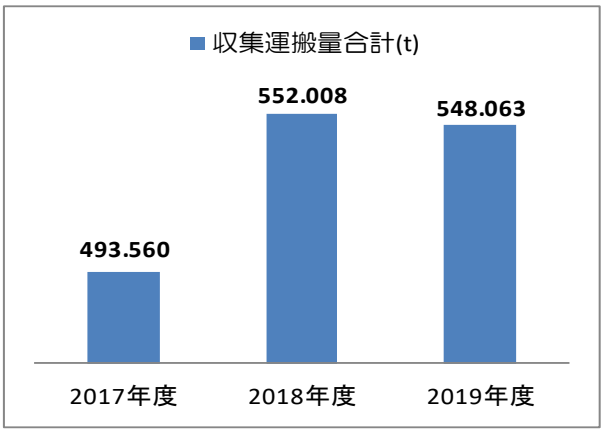
一般廃棄物収集運搬量(t)				産業廃棄物収集運搬量(t)				
ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	本	缶	厨芥ごみ	金属くず	がれき類	木くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	ｶﾞﾗｽくず
60.31	1.2	1.87	80.46	201.20	25.52	50.60	46.9	80
143.84				404.23				

② 受託した産業廃棄物の収集運搬量の実績

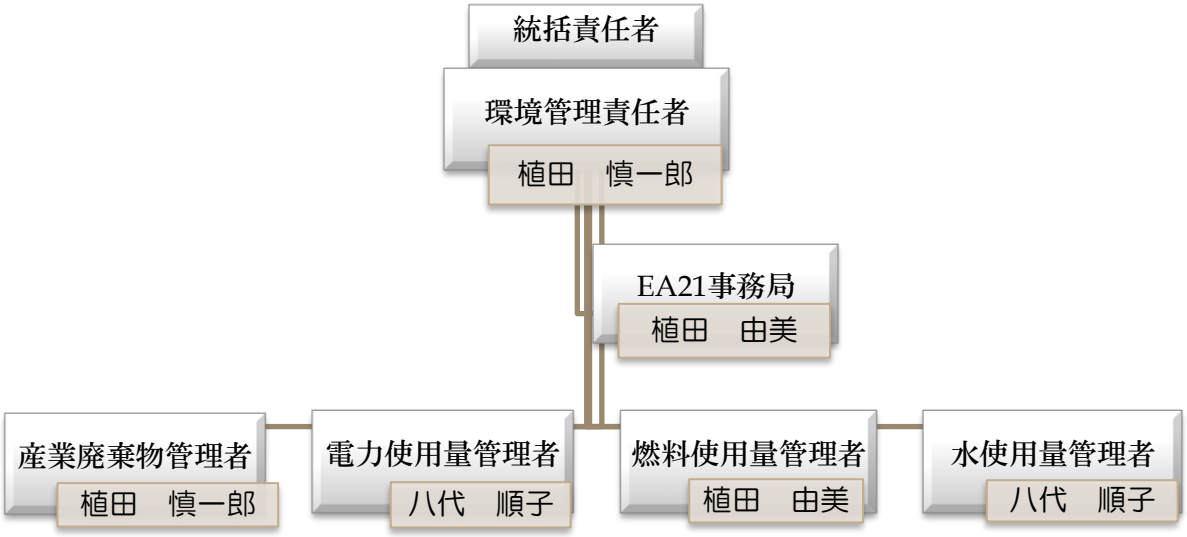
処理方法	再生利用							熱回収	埋立			収集運搬量合計(t)
品目 / 数量(t)	紙屑・缶	金属屑	発砲ｽﾁﾛｰﾙ	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木屑	廃油	厨芥ゴミ	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	ガラス屑	
2017年度	46.12	213.5	0	14.49	0	42.46	0	79.29	0	21.70	76	493.560
2018年度	52.12	246.51	0	13.608	0	59.4	0	74.05	5	36.05	65.27	552.008
2019年度	63.38	201.2	0	25.523	0	50.6	0	80.46	0	46.90	80	548.063
R1年度 処理方法別	341.703t							74.05t	126.9t			
	62%(リサイクル比率）※							14%	24%（埋立比率）			100%

リサイクル比率＝2019年度再生利用合計数量／2019年度収集運搬量合計数量*100
埋立比率＝2019年度埋立合計数量／2019年度収集運搬量合計数量*100





【11】EA 推進体制図



統括責任者

- 環境管理責任者を任命する。
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源を準備する。
- 環境方針を制定する。
- 環境経営システムの構築・実施に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示する。
- 環境目標・環境活動計画及び環境レポートの承認をする。

環境管理責任者

- EA21の要求事項に適合したシステムを構築し、維持を確立する。
- 苦情・要望等の処理全般。
- 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施。
- 緊急事態の想定と対応手順書の制定及び訓練の実施。
- 環境目標及び環境活動計画の策定。
- 環境レポートの作成

EA事務局

- 事務局として環境管理責任者を補佐し、環境経営システムに関する事務全般を行う。
- 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認をする。
- 教育・訓練計画の策定を実施する。
- 緊急事態の想定の訓練の記録及び対応手順書の改訂をする。
- 環境文書及び記録の作成と管理をする。

各部門管理者

- 自己の管理範囲における実施責任者として、全員参加による環境経営システムの実施及び責務を負い、パフォーマンスの向上を図る。
- 環境目標及び実施項目に対する問題点の是正を実施する。

2. 環境方針

【基本理念】

株式会社リペアは、再生資源物及び廃棄物の収集運搬業者として、環境に配慮した収集運搬業務に心がけ、かつ再生資源物及び廃棄物のリサイクル推進活動を行い地球環境保全に配慮し、以下の環境行動方針を定め、全ての事業活動を通じてその実現に取り組みます。

【環境保全への行動方針】

1. 環境負荷低減のために環境循環に配慮した事業活動に努めます。

具体的な取り組み項目

⑴二酸化炭素の排出削減

① 収集運搬車両の燃料消費量の削減

② 電力使用量の削減

⑵廃棄物の排出削減（リサイクル率の向上）

① 一般廃棄物の削減

② 埋立廃棄物の抑制（金属くずの再生量の拡大）

③ 廃棄物排出事業者に対しての分別及びリサイクルの推進・情報提供

④ リサイクル先の開拓

⑶水資源使用量の削減

節水活動

⑷グリーン購入の推進

環境負荷の少ないエコ商品の優先購入

2. 環境保全に関する上記取り組み項目について目的・目標を設定し、結果を点検・評価し、環境マネジメントシステムの継続改善に努めます。
3. 環境関連法規、関係する法令・規制を遵守します。
4. 環境方針及び環境目標、環境活動について全社員に周知するとともに、活動の取り組みを環境活動レポートとして公表します。

制定日：2009 年８月 10 日

改訂日：2019 年２月 １日

株式会社リペア

代表取締役　　植田　慎一郎

3.　環境負荷の現状

環境負荷の３年間の現状

CO2 排出量、廃棄物排出量、水使用量は原単位（排出量/売上）で平成 29 年度を基準（100%）に令和 1 年度までの実績です。

グリーン購入については、事務用品について購入した全品種のうちのエコ商品の比率です。

環境負荷項目	単位 ／ 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
CO2 総排出量	(kg-CO2)	21930	22008	21100
CO2 排出量	原単位 (kg-CO2/百万円)	327.3	319.0	314.9
	2017 年度基準比較	100%	97.4%	96.2%
総廃棄物排出量 (埋立)	t	97.7	106.3	126.9
廃棄物排出量 (埋立)	原単位(t/百万円)	1.5	1.5	1.9
	2017 年度基準比較	100%	100%	126%
総排水量	㎥	31	47	22.5
水使用量	原単位(㎥/百万円)	0.46	0.68	0.34
	2017 年度基準比較	100%	147.8%	73.9%
グリーン購入	エコ商品/全品種	16/20	7/12	16/20
（事務用品）	毎年購入率 50%	80%	58%	80%

※二酸化炭素排出量の購入電力排出係数は平成 28（2016）年度 0.691 kg-CO2/kWh(中国電力)で算出

4.　5ケ年環境目標(2018年度～2022年度)

CO2 排出量・水使用量の総量は 2017 年度（基準年度）より毎年 1%ずつ削減、中長期目標として基準年度より 5 年で 5%の削減を目指します。
グリーン購入については、購入全品種数に対し、50%のエコ商品の購入が出来るよう目指します。
収集運搬に伴う環境負荷も低減の取り組みとして収集運搬車両の燃費の向上に努めます。

				基準年度 2017年度実績 (2016.9～2017.8)	目　標 中長期目標 2018年度 (1%削減)	当年度 2019年度 (2%削減)	2020年度 (3%削減)	2021年度 (4%削減)	2022年度 (5%削減)	削減目標
二酸化炭素排出量の削減	電力	使用量(kWh)		9,996	9,896	9,796	9,696	9,596	9,496	2017年度比 1%/年　削減
		CO2排出量(kg－CO2)		6,907	6,838	6,769	6,700	6,631	6,562	
	ガソリン	使用量(ℓ)		2,363	2,339	2,316	2,292	2,268	2,245	
		CO2排出量(kg－CO2)		5,486	5,431	5,376	5,321	5,267	5,212	
	軽油	使用量(ℓ)		3,874	3,835	3,797	3,758	3,719	3,680	
		CO2排出量(kg－CO2)		10,166	10,065	9,963	9,862	9,760	9,658	
		収集運搬車両 燃費(km/ℓ)	2669　6tﾋﾔﾌﾞ	3.35	4.32	3.28	4.25	4.22	3.18	
			1885　3ｔ	7.61	7.69	7.76	7.84	7.91	7.99	
			3583　3ｔ	8.23	8.34	8.43	8.51	8.59	8.67	
			6620　ﾊﾟｯｶｰ	5.65	5.71	5.76	5.82	5.88	5.93	
	二酸化炭素排出量の合計　(kg－CO2)			*22,559*	22,334	22,109	21,882	21,658	21,432	
一般廃棄物排出量の削減（kg）						51.3	50.8	50.3	49.8	2019年度比 1%/年　削減
水使用量の削減（m3）				31.0	30.7	30.4	30.1	29.8	29.5	2017年度比 1%/年　削減
事務用品のグリーン購入 (購入エコ商品数/購入全品種数)				50%	50%	50%	50%	50%	50%	購入全品種数に対して50%のエコ商品数

*中長期計画内の購入電力のCO2排出係数は2016年度値で固定します。
*購入電力量からのCO2排出係数は中国電力の調整後排出係数0.691ｋｇ-CO2/kWhを使用しました。
*弊社では化学物質の使用はありません。
*弊社より排出される一般廃棄物の排出量は2018年2月から7ケ月間のみの実績値しかないため
2019年度を基準年度として2022年度まで1%/年の削減に努めます。

●環境に配慮した活動として●

収集運搬車両の燃費向上を目的として毎年年間の燃料使用量を収集し、次年度へ向けての策定を毎年実施します。

☆脱着装置付コンテナ専用車 3 台は Nox/PM 適合車です。

5.　環境活動計画（2018.9～2019.8）

【目標達成スケジュール】

目標達成手段	スケジュール											
	2018年				2019年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
空調温度設定を（夏季28℃冬季20℃）心がける	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○
不要時の照明器具の消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エアコンの定期清掃		○					○					○
節電設備に関する知識習得・検討	○						○					
運行コースの見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アイドリング・急加速・急停車の禁止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
燃料使用量のﾃﾞｰﾀの記録（燃費管理）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
車両点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物の搬入品チェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
排出者への分別の提案・弊社での分別指示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
毎日の手洗い等の節水を心がける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
２ケ月毎使用量のおしらせの確認にて増加の抑制		○		○		○		○		○		○
洗車水の節水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道管凍結防止策の検討			○									
エコ商品の優先購入	随　時											
会社周辺の側溝掃除								○				
会社周辺の草取り・ゴミ拾い		○		○		○		○		○		○

6.　今年度の環境目標の実績及び評価(2018.9～2019.8)

【1】今年度の実績（電力使用量・ガソリン・軽油使用量・一般廃棄物排出量（厨芥ごみ）・水道使用量）

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合　計	kg-CO2
電力	kWh	892	695	807	885	972	1089	923	791	654	694	764	1106	10272	7098
ｶﾞｿﾘﾝ	L	196	174	202	233	150	242	225	173	150	202	195	221	2362	5483
軽油	L	190	326	218	390	265	295	217	232	244	314	236	318	3246	8518
															21100
廃棄物	kg	6.7	4.5	3.2	3.1	3.3	3.4	4.1	4.0	6.2	4.0	6.1	2.7	51.3	
水道水	㎥	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	22.5	

購入電力の CO2 排出係数は中国電力の 2016 年度 0.691 kg-CO2/kWh で算出

【2】今年度の目標達成状況

環境負荷項目	2017 年 基準年度	2019 年度目標	2019 年度実績	評価
CO2 排出量	22,559	22,108	21,100	◎
(kg-CO2) 達成率	100%	2017 年度より 2%削減	106.9%	
一般廃棄物排出量	—	—	51.3	—
(kg)	—	—	—	
水使用量(㎥)	31	30.4	22.5	◎
達成率	100%	2017 年度より 2%削減	137.7%	

●CO2 排出量●

基準年度 2%削減に対し、約 6.5%削減で達成することができました。
冬季のエアコン使用量が毎年気をつけていますが、それほど増加することもなく、倉庫作業で事務所不在になるときはエアコンに負荷がかからないよう設定温度を調節したり、ウォームビズにより高い温度設定をしなくていいように一人ひとりが取り組みました。収集運搬車両ではアイドリングや急加速に気をつけ燃料の向上と CO2 排出の抑制を心がけ、今後もエコドライブを徹底します。

●一般廃棄物排出量●

今年度より実績をとり、本年度 1 年間の実績値を基準年度とし 1%/年削減します。
岡山市環境施設課より事業系ごみのごみ処理経費が上昇している旨の話を伺い、企業の大小かかわらずの一社一社の排出量の抑制の重要さとリサイクルできるよう分別していかないといけないと思いました。排出事業者の方々への分別・リサイクルを今後も推進していきます。

●水使用量●

基準年度 1%削減に対し、約 27%の削減で達成できました。
冬季になる前に水道管チェックをしていたので前期のように破裂するようなことはありませんでした。貴重な水資源の使用量削減に来期からも取り組みます。

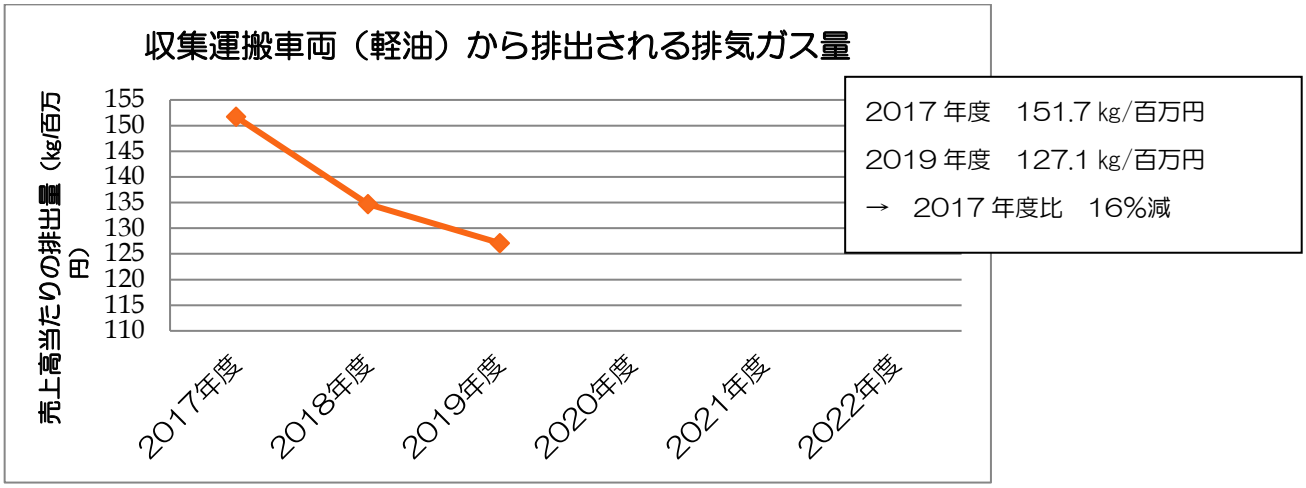
環境負荷項目	2017 年 基準年度	2019 年度目標	2019 年度実績	評価
グリーン購入 購入率（エコ商品/全品種）	80%	50% 毎年　購入率 50%	80%	◎

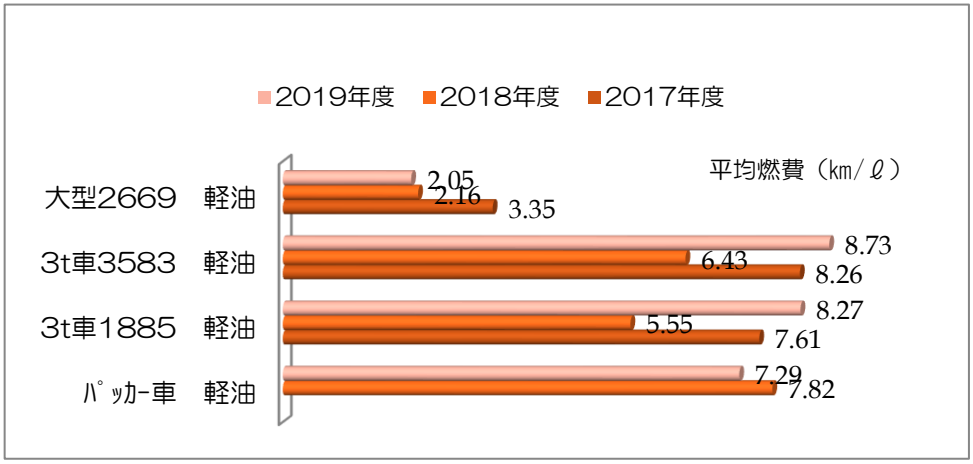
●グリーン購入●

毎年購入率 50%に対し、80%で達成できました。（エコ商品 16/全品種 20）
今後も継続して環境ラベル認定製品をコスト面も踏まえて維持管理して取り組みます。

【3】収集運搬車両の燃料使用量の把握

各収集運搬車両の走行距離・給油量のデータに基づき燃費の調査をしました。
以下に実施結果をグラフに示します。





7.今年度の環境活動計画の取組の評価と次年度の取組

環境目標	取組内容	取組実施状況	評価	次年度の取組	担当者
電気使用量の削減	空調温度設定を（夏季28℃冬季20℃）を心がける（事務所）	○	心がけは良好です。ただ、夏季の設定温度28℃は事務所構造上高く、仕事効率の低減しかねないので検討必要。	継続	八代
	不要時の照明器具の消灯	○	声かけにより効果あり	継続	全員
	エアコンの定期清掃	○	常にフィルター清潔維持	継続	八代
	運行コースの見直し	○	見直し走行していると言えます	継続	植田慎
	アイドリング・急加速・急停車の禁止	○	常に心がけました	継続	植田慎
	燃料使用量のデータの記録（燃費管理）	○	月初と月末の走行距離メータの記録をしました。売上高あたりの排出量も減少しました	データをとることで使用量・燃費の確認ができるので次年度も継続します	植田由
	車両点検	○	毎日車両発進時点検しました	継続（車検時にはタイヤ・部品等の耐久にも着目必要）	植田慎
廃棄物量の削減（リサイクル率の向上）	廃棄物の搬入品チェック	○	解体作業によるリサイクル品分別により埋立廃棄物の削減に反映しています。	継続	植田慎
	排出者への分別の提案・弊社での分別指示	○	分別の提案によりお客様にメリットのある収集になっています	継続	植田慎
	リサイクル先の新規開拓	△	リサイクル先のより精査が必要	長期的な課題ですが費用とのバランスを考慮し、継続的に模索し取り組みます	植田慎
水使用量の削減	毎日の手洗い等の節水	○	声かけにより効果あり	継続	全員
	洗車水の節水	○	声かけにより効果あり	継続	八代
	水道管凍結防止策の検討	○	定期的な点検により破裂を防止することができました	継続	八代
グリーン購入	エコ商品の優先購入	○	エコ商品を最優先	今後もEJ商品を最優先で購入します	八代
教育訓練	緊急事態での対応訓練の実施	△	未実施、全員で実施する訓練が必要	全員参加型の訓練実施を心がけます	全員
社会貢献	会社周辺の側溝掃除	○	泥が100kg程度溜まっていました。側溝内の水の流れが良くなりました。	今後も年に一、二回はできるように取り組みます。（側溝下は実施していないので検討）	全員
	会社周辺の草取り・ゴミ拾い	○	定期的に実施することで会社周辺の美化に努めれました	継続	全員

○･･･目標達成、取組実施あり、効果あり
△･･･目標達成、取組実施あり、効果期待
×･･･目標未達成、取組実施あり、効果なし

8. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

関連法規名称	遵守事項		チェック
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業 岡山市第4003号	一般廃棄物実務管理者講習　受講	☑
		収集・運搬業の許可の更新	☑
		収集運搬車両への表示	☑
		収集・運搬の基準の遵守	☑
		一般廃棄物状況報告書	☑
	産業廃棄物収集運搬業 岡山市　第8310012452号 岡山県　第3301012452号 兵庫県　第2804012452号	産業廃棄物収集・運搬更新　受講	☑
		収集・運搬業の許可の更新	☑
		収集・運搬車両への表示・書面備え付け	☑
		収集・運搬管理帳簿の作成・保存・報告	☑
		産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出	☑
		廃棄物の積み替え保管場所の管理・掲示板の表示	☑
		マニフェストの管理	☑
		客先との委託契約書の管理	☑
循環型社会推進基本法	廃棄物の排出抑制		☑
	廃棄物の循環資源としての利用促進		☑
グリーン購入法	環境物品等購入の推進		☑
計量法	主任計量者講習		☑
	計量器の定期点検		☑
	計量証明事業者報告書の提出		☑
道路交通法	交通ルールの厳守		☑
消防法	火災の予防　消火器の定期点検		☑

2. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

2019 年度の環境関連法規遵守状況の確認において環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局より違反等の指摘は過去 5 年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し

【1】全体の評価

新元号を迎え、弊社としても新たな気持ちでエコアクション 21 に取り組み、地球温暖化を抑制できるよう日々努力しているところです。

二酸化炭素排出量は、電力についてはエアコンの使用方法、設定温度等調節しながら一人ひとりが取り組めました。ガソリン・軽油については収集運搬車両についても燃費が伸びている結果となりましたので無駄のない運行だと思われます。今後も二酸化炭素排出抑制を常に念頭におきながら使用していかなくてはいけないことを社員全員に周知します。

一般廃棄物排出量は、今年度より実績値を集計し、基準年度として毎年 1%/年の削減に努めます。排出事業者の方々への分別・リサイクルも引き続き推進します。

水使用量は冬季前に水道管の点検を実施したので漏水することなく目標を達成することができました。対策をしながら今後も節水を継続し、貴重な水資源の使用量削減に来期からも取り組みます。

グリーン購入は、エコ商品の購入が出来ています。コスト面の兼ね合いもありますが、出来る限り再生できるものをムダなく使用していきたいです。

環境活動の取組として、事業所周辺の側溝の清掃等気づいたときには随時ゴミ拾い等など活動を行う様、地域周辺の美化に努めました。今後も社員全員で取り組みます。

【2】全体の見直し

① 環境目標の達成状況

すべての項目が目標値に達成することができました。

② 環境活動計画の実施及び運用結果

環境目標は環境活動計画の実施・運用にて達成することができています。

③ 環境関連法規等の遵守

2019 年度の環境関連法規への違反はありませんでした。今後もインターネットや産業廃棄物協会関連の情報等にて、確認と遵守を定期的に行います。

④ 外部からの環境に関する苦情や要望

ありませんでした。今後も地域の方々に貢献できる組織づくりを形成していきます。

【3】次年度の環境経営システムの検討（評価及び見直しの結果）

◎環境方針
◎環境目標
◎環境活動計画
◎環境経営マニュアル

⇨ 変更の必要ありません